

LinkCube ファイル連続変換

複数ファイルを指定した形式で保存できる

複数ファイルを連続して指定した形式に保存できます。

単純な連続変換だけでなく、独自のスクリプト（.jsx ファイル）や、LinkCube 文字あふれ処理、LinkCube ファイル連続配置などを処理しながら、連続変換することもできます。

変換元の形式は、.indd、.indt、.idml、.idms

変換先の形式は、.indd、.indt、.pdf、.jpg、.EPS、.epub（InDesignCS5～）、.idml です。

.jpg、.EPS、.epub に変換する場合、各ファイルの現在の書き出し設定値を使用します。

.pdf ファイルに変換する場合は、プリセットを指定できます。

任意のファイルを選択する方法と、監視フォルダを選択する方法の2種類あります。

各変換形式の保存先に、任意の名前のフォルダを指定できます。

ファイル選択の場合は、選択したファイルのフォルダに、指定した名前のサブフォルダが作成されます。

変換されたファイルは、そのフォルダに保存されます。

監視フォルダの場合は、監視フォルダに指定した名前のフォルダと [変換元] フォルダが作成されます。

変換されたファイルはそのフォルダに保存され、元のファイルは [変換元] フォルダに移動されます。

変換に失敗したファイルは、選択したファイルのフォルダまたは、監視フォルダの下の [変換エラー] フォルダに移動します。

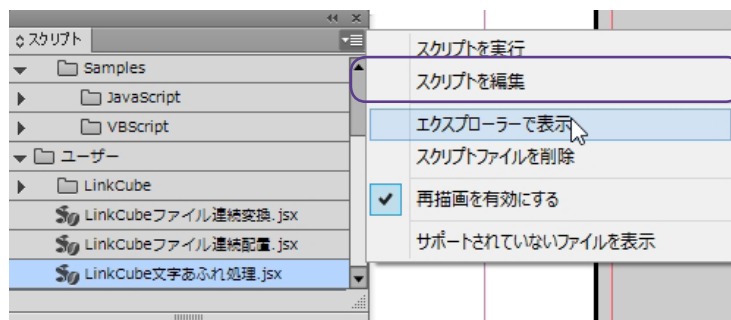
[変換エラー] フォルダに、変換エラーログ.txt が作成されます。

インストール方法

1. ダウンロードしたファイルを適当なフォルダに解凍します。
2. InDesign のスクリプトパネルを開き、アプリケーションまたはユーザーフォルダを選択します。
3. (Win) 右クリックして、[エクスプローラで表示] をクリックします。
(Mac) control キー+クリックして、[Finder で表示] をクリックします。

4. Scripts Panel フォルダの中に解凍後の

LinkCube ファイル連続変換 .jsx と LinkCube フォルダ をコピーします。



参考：<https://helpx.adobe.com/jp/indesign/using/scripting.html>

アンインストール方法

1. InDesign のスクリプトパネルを開き、LinkCube ファイル連続変換 .jsx を選択します。
2. (Win) 右クリック・(Mac) control キー+クリックして、[スクリプトファイルを削除] をクリックします。
3. LinkCube フォルダ内の _exchangeFiles.jsx、LinkCube ファイル連続変換 .swf も削除します。

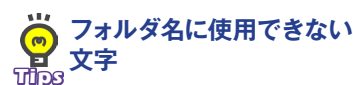
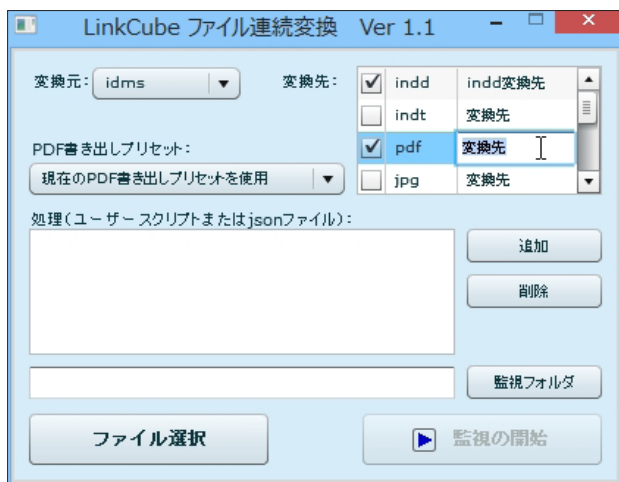
変換元・変換先

変換元ファイルの拡張子を選択します。

変換先ファイルの拡張子を選択します。複数の拡張子を選択できます。

例えば、idml から indd と pdf を同時に作成できます。

変換先ファイルの拡張子毎に変換先のフォルダ名を指定できます。(デフォルトは [変換先])



フォルダ名に次の文字は使えません。
¥ / < > : * ? " |

PDF 書き出しプリセット

変換先ファイルが PDF の場合、PDF 書き出しプリセットが指定できます。



処理 (ユーザースクリプトまたは json ファイル) 追加・削除

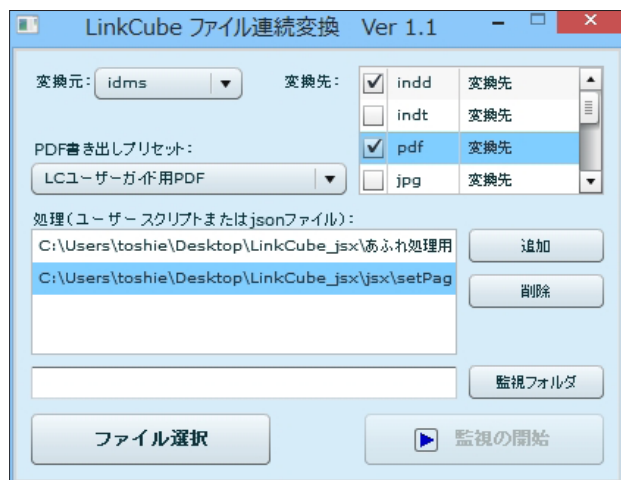
[追加] ボタンで、独自のスクリプトや LinkCube 文字あふれ処理の json ファイル、LinkCube ファイル連続配置の json ファイルを追加することができます。

変換元の 1 ファイルに対し、追加したファイルの処理を全て実行し、変換先の形式で保存します。



追加した処理ファイルは、ドラッグ&ドロップで処理順を変更することができます。

例えば、LinkCube 文字あふれ処理の「あふれ文字すべて処理する」で保存した json ファイルと、段落スタイルを指定した「1 行以下にする」で保存した json ファイルを追加すれば、あふれた文字をすべて処理→指定した段落スタイルを 1 行以下、の順番で処理します。さらに独自のスクリプトを追加すれば、あふれた文字をすべて処理→指定した段落スタイルを 1 行以下→独自のスクリプト、の順番で処理します。ファイル連続配置の json ファイル→あふれ処理→独自のスクリプトといった処理も可能です。



ファイル選択

[ファイル選択] ボタンをクリックし、変換したいファイルを選択します。(変換元で選択した拡張子のファイルが選択できます)

変換されたファイルは、指定した名前のフォルダに作成されます。

実行中の InDesign のバージョン以降に作成された indd ファイルと indt ファイルは変換できません。



ファイルは複数選択可能

tips

ファイル選択時、
(Win) Ctrl キー/
(Mac) command キー+クリック、
Shift キー+クリック
などで複数選択できます。

監視フォルダ

監視フォルダを使用する場合は、[監視フォルダ] ボタンをクリックし、監視するフォルダを選択します。

監視フォルダは InDesignCS5 以降のバージョンに対応しています。



[監視の開始] ボタンをクリックすると、監視フォルダ内にある、変換元で選択した拡張子のファイルを処理します。

変換されたファイルは、指定した名前のフォルダに作成されます。元のファイルは [変換元] フォルダに移動されます。

[監視の終了] ボタンをクリックすると、監視を終了します。

対応 OS・対応 InDesign

対応 OS:

Windows・Mac OS X

対応 InDesign:

InDesignCS4～InDesignCC2015

監視フォルダ・epub 変換: InDesignCS5～

更新情報

バージョン: 1.1

2015年10月20日更新

変換ファイル拡張子別保存先のフォルダ指定

pdf 変換時のプリセット指定

エラーファイルのフォルダ移動・ログ出力

ソフトウェアに関するお問い合わせ先

合同会社リンクキューブ

mail: info@link-cube.net

Windows 版 InDesignCS5.5 または CS6 をご使用の方へ

監視フォルダ機能使用中に、下記の現象が発生した場合の対応方法を記載します。

●現象

Windows 版 InDesignCS5.5

正しく動作しない

Windows 版 InDesignCS6

Adobe InDesign CS6_J Type Library (バージョン 1.0) を読み込めません。とエラー表示される

●対策

以下の手順を実行します。

例：CS6 (バージョン 8.1)

1. InDesignCS6 を終了します。
2. 以下の2ファイルを削除します。

C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Local\Adobe\InDesign\Version 8.0-J\ja_JP\Caches\Scripting Support\8.1\Resources for Visual Basic.tlb

C:\ProgramData\Adobe\InDesign\Version 8.0-J\ja_JP\Scripting Support\8.1\Resources for Visual Basic.tlb

3. InDesignCS6 を「管理者権限として実行」で起動します。
4. InDesignCS6 を終了します。
5. PC を再起動します。

●原因

InDesign インストーラの不具合によるものと思われます。